

地域おこし協力隊

立谷沢を
元気に！

5月1日から新しく地域おこし協力隊に着任した瀬尾さんは、「タチラボ」を拠点に、農工商連携による庄内町ブランドの創生や、地元産食材を活用した加工特産品の開発などに携わる、地域ブランド推進員として活動していきます。

地域おこし協力隊

地域ブランド推進員

せお 瀬尾 じゅんた 淳太さん

(山形県寒河江市出身)

Q 地域おこし協力隊に 応募したきっかけは？

元々地方創生に興味があり、情報収集をしていました。その中で、鮭川村で地域おこし協力隊として活動している友人の影響がありました。昨年の7月頃、その友人から活動について話を聞く機会があったのですが、協力隊の魅力など、とても楽しそうに話していた彼の姿が印象的でした。その際庄内町の協力隊をオススメされ、興味が湧いたことがきっかけです。

Q どんな活動をして いきたいですか？

地域の中にいる人は、そのの良さになかなか気づけません。外から来た人だから気づける魅力というものがあるとと思うので、地域の魅力をどんどん発掘していきたいです。立谷沢地域のお米や山菜の品質はとても良いのですが、立谷沢ブランドとしてはまだ

確立できていなく、売り方も工夫されていないと感じました。ブランド化確立のために、地域商社を立ち上げ、地元食材を活用した商品の開発に力をいれていきたいです。自信をもって他の地域に売り出せるような商品が作れるよう頑張ります。

Q 庄内町に暮らして みてどうですか？

自然豊かなところがとてもいいですね。庄内町は月山と鳥海山のちょうど真ん中で、2つの山がとても綺麗に見られるところに感動しました。4月まで仙台市に住んでいたのですが、山や緑を肌で感じられる点は、仙台市には無い強みだと思います。

食べ物も美味しく、何気なく寄った風車市場で食べたごはんにびっくりしました。道の駅でもこんなに美味しいものが食べられるなんて、レベルの高い町だなんて思いまし

た。

立谷沢地域に初めて訪れた時、陸の孤島のように感じました。国道47号線からタチラボまで9kmあるなんて最初は信じられなくて、ちよつと心配になりました。(笑)

Q ご家族の反応はどうでしたか？

会社を退職し、地域おこし協力隊に着任することを家族に報告すると、心配どころかむしろ歓迎されました。「県内に帰ってくるぞ」と喜ばれました。ゴールデンウィークには家族を立谷沢に連れてきて一緒に過ごしました。

Q プライベートで楽し みたいことは？

せっかくきれいな立谷沢川が近くにあるので、釣りをしてみたいです。イワナやヤマメなどが釣れるみたいなので楽しみです。